

2021年4月15日
株式会社東陽テクニカ

Interop Tokyo 2021 『Best of Show Award』 2部門でグランプリを受賞

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也、以下 当社)は、国内最大級のインターネットテクノロジーイベントである「Interop Tokyo 2021」の『Best of Show Award』で、当社販売の Spirent Communications 社製 2 製品が、2 部門でグランプリを受賞したことをお知らせいたします。

『Best of Show Award』は、出展企業各社からエントリーされる選りすぐりの新製品を、有力メディア各社のキーパーソンと、学术界の識者によって編成される審査委員会が審査し、「今年の一品」を決定、表彰するものです。

今回当社は、マネジメント&モニタリング&テスト部門で Wi-Fi 6E 対応パフォーマンステスター「Spirent C50 アプライアンス Wi-Fi 6E 対応 ハイ Radio モデル」が、モバイルコンピューティング部門で 5G フロントホール通信のエミュレーション&性能測定機能「Spirent TestCenter eCPRI/O-RAN テストソリューション」がそれぞれグランプリを受賞いたしました。

【 グランプリ受賞製品 マネジメント&モニタリング&テスト部門 】

Wi-Fi 6E 対応パフォーマンステスター

「Spirent C50 アプライアンス Wi-Fi 6E 対応 ハイ Radio モデル」



「Spirent C50 アプライアンス Wi-Fi 6E 対応 ハイ Radio モデル」は、無線 LAN テスターとして好評の Spirent TestCenter が日本で初めて Wi-Fi 6E 6GHz 帯通信に対応したモデルです。従来の 2.4G/5GHz 帯通信、NBASE-T 高速有線 LAN と組合せて、Wi-Fi 6E AP やシステム全体のパフォーマンス/スケーラビリティテストを 1 台で実現します。また、1 台で 20 もの Resource Unit(RU)を備え、高効率な Wi-Fi 6/6E 通信に必須な DL/UL OFDMA^{*1}、DL/UL MU-MIMO^{*2} 技術を強力にテストできます。

当社製品ページ URL :

https://www.toyo.co.jp/ict/contents/detail/testcenter_wifi-access-point.html#C50

- ※1 OFDMA: Orthogonal Frequency-Division Multiplexing Access
- ※2 MU-MIMO: Multi-user Multiple Input and Multiple Output

<審査員コメント> (抜粋)

本製品は、Wi-Fi 6/6E がサポートする 2.4G/5G/6GHz 帯に対して多面的な MU-MIMO や OFDMA といった機能を計測でき、普及が進む Wi-Fi 6 だけでなく展開が進みつつある 6GHz 帯 Wi-Fi 6E の普及を支える製品である。加えて、会場デモを通して本イベント参加者が Wi-Fi 6E の実機測定や OFDMA の性能を体感できるようにし、Interop というイベントらしさを示している点も高く評価した。



(実際の展示)

【 グランプリ受賞製品 モバイルコンピューティング部門 】

5G フロントホール通信のエミュレーション&性能測定機能

「Spirent TestCenter eCPRI/O-RAN テストソリューション」



Port Name	Total Tx Count	Total Rx Count	Total Tx Throughput (Mbps)	Total Rx Throughput (Mbps)	Total Tx Packets (K)	Total Rx Packets (K)
Port 1	1000	1000	1000	1000	1000	1000
Port 2	2000	2000	2000	2000	2000	2000
Port 3	3000	3000	3000	3000	3000	3000

「Spirent TestCenter eCPRI/O-RAN テストソリューション」は、5G フロントホールのテストソリューションを提供する Spirent TestCenter のオプションパッケージです。eCPRI 送信メッセージの Type ごとの定義、eCPRI デバイス上の O-RAN 送信メッセージの定義、さらに受信メッセージに対しての応答フレームの任意定義により、5G フロントホール区間のエミュレーション/パフォーマンステストが可能です。eCPRI テスト専用ハードではなく、スタンダードなインターネット&IP テスターである本製品で 5G 試験を実現しました。

Spirent 製品データシート(英文)URL :

<https://www.spirent.com/assets/datasheet-spirent-testcenter-ecpri-device-emulation>

<審査員コメント> (抜粋)

O-RAN 試験に対応した TestCenter では、Layer2-3 ネットワークだけでなく O-RAN もパフォーマンス試験を行うことができ、O-RU(O-RAN Radio Unit)と O-DU(O-RAN Distributed Unit)間の相互接続試験を支援する製品であるということを評価した。今後ローカル 5G の普及を含め期待されている O-RAN 製品の相互接続・互換性の試験に活用され、マルチベンダー接続を促す製品となること期待している。

【 東陽テクニカ出展概要 】

- ◆開催名 : Interop Tokyo 2021
- ◆会期 : 4月14日(水)～4月16日(金) | フェーズ01(幕張メッセ&ライブ配信)
4月19日(月)～4月23日(金) | フェーズ02(オンライン)
- ◆会場 : 幕張メッセ(国際展示場)
- ◆ブース番号 : 5N04(東陽テクニカブース)
- ◆公式サイト : <https://www.interop.jp/>
- ◆出展製品詳細 : https://www.toyo.co.jp/ict/seminar/detail/Interop_Tokyo2021.html

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最先端の計測機器の輸入販売を行ってきました。現在の事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンスなど多岐にわたり、独自の計測技術を搭載した自社製品の開発にも力を入れ、国内外へ事業を拡大しています。「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、5G(第 5 世代移動通信システム)の普及や自動運転車開発なども支える最新ソリューションを提供することで、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ マーケティング課

TEL : 03-3279-0771(代表)

E-mail : marketing_pr@toyo.co.jp

出展製品一覧ページ :

https://www.toyo.co.jp/ict/seminar/detail/Interop_Tokyo2021.html

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。